

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	ロシア
オンライン留学先大学	サンクト・ペテルブルク国立大学
プログラム開始日	2020年9月15日
プログラム終了日	2021年6月7日
今回の留学にかかった費用	無し
留学の目的とその達成度合	ロシア語の語学授業のみを履修したので、ТРКИ第二レベルを取得できるロシア語運用能力をつけることを目指した。特に、自分が苦手とする会話能力を重点的に鍛えたいと考えていた。☒ 達成度合いとしては、オンライン留学前よりは全体的にロシア語能力が向上した実感はあるが、検定試験をまだ受験していないためどの程度目標を達成できたかについては不明である。会話についてはオンライン授業で鍛えることの限界を感じ、やはり現地で生活しながら受講したかったというのが正直なところである。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	初めのクラス分けテストの結果により自分の実際の実力よりもレベルの高いクラスで一年間学んだため、授業についていけないと感じることもあり、特に後半のタームは毎週かなり神経をすり減らしながら受講していた。結果として逆境に負けない耐久力と自制心が鍛えられたと思う。また、ロシア語のクラスは日本の大学とはやや雰囲気の違い、多くの学生が貪欲に学ぶ意欲に溢れている印象があったため、私自身も彼らに感化されることが多かった。いつも周りの人の様子を伺うのではなく、自己主張や先生との交渉がものを言う世界であることを実感した。
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	ロシア語語学授業
授業内容	私は週二回（各3時間）のロシア語語学授業を受講しており、一週間の中で文法の日と会話の日の二つに分かれていた。☒ 文法の授業では、主にPDFで配布された教科書が用いられ、先生の文法解説を聞き、練習問題をみんなで解いて答え合わせをするという流れで進んだ。☒ 会話の授業では様々なトピック（人口動態、環境問題、教育問題など）について学問的なテキストを読んだり、関連する動画を見たり、みんなでディスカッションをしたりした。自分でテーマを決めてプレゼンをする機会もあった。
授業の開講時間および現地時間との時差	前期：18:30-21:30（時差6h）☒ 後期：16:00-19:00（時差6h）
外大の授業との両立について	外大の授業を10コマ程度、留学先大学の授業を4コマ（1コマ90分）履修。☒ 課題の量としてはそれほど両立は難しくなかったはずだが、私は留学先の授業についていくことですら精一杯だったため、課題に追われてかなり苦しい時期もあった。ただ、日程面では外大のテスト期間が始まる前に留学先の授業期間終わるため、外大の学期末はレポートやテストに集中することができた。
授業内容やプログラム全体に対する感想	オンライン留学を開始する時からやはり現地に行きたいという思いがあったため、留学期間前半はやや消化不良のままだったが、授業が進むにつれて思い悩んでいる時間がないほど授業に追いつくことに必死になっていた。しかしながら現地に行けないという現在の状況下で、自分自身がなぜロシア語をマスターしたいのか、いつか現地へ行くことができたなら何をしたいのか等について再度振り返る時間にもなったのではないかなと思う。忙しい中、オンラインの授業プログラムを提供していただき、メールで問い合わせると柔軟に対応して下さった外大とペテルブルク大学の関係者の方々にとっても感謝している。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	8
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	ロシア語の授業以外で留学生同士が交流する機会（おしゃべり会、映画鑑賞会、オンラインゲームプレイなど）は多少あったが、その際の会話の主な使用言語は英語だったものの私はロシア語を勉強しすぎたあまりに英語を忘れつつあったので、あまり円滑に他国の留学生とコミュニケーションが取れなかったのが心残りである。一般に、ロシア人や留学生の友人をオンライン留学で作りたい場合は、ZOOM上でも自分からかなり積極的に話しかけに行く必要があると思う。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	ロシアの大学へのオンライン留学は、語学力を伸ばすことを留学の第一目的として考えている人にとっては非常に良いプログラムだと思います。外大のネイティブの授業とは異なる緊張感があり、日本にいながら多少の誤りは気にせずとにかくロシア語で喋り続けなければいけない環境に自分を置くことができます。文法に関しては1,2年生で習った文法事項を発展させ、より体系的に理解することができる点で良いと思いました。☒ 一方、現地での様々な体験（ロシア語ネイティブと話す、観光地を訪れる、ロシアの生活文化を体験するなど）を期待している人にとっては、オンライン留学は渡航留学の代替物にならないと思うのでおすすめしません。渡航しなくとも日本にいながらロシアについて学べることはたくさんあるはずなので、そのような人は渡航が可能になるまでの間はできることをしながら待つのがいいと思います。

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	ロシア
オンライン留学先大学	サンクト・ペテルブルク国立大学
プログラム開始日	2020年8月25日
プログラム終了日	2021年6月30日
今回の留学にかかった費用	約三万
留学の目的とその達成度合	語学力向上。☑ 語彙や文法の知識など、得るものは大きかったが、当初考えていた目的がオンライン留学になったためにほとんど達成されなかった。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	語彙、文法の知識。どんなに拙くてもなるべく表現する努力をすること。オンラインであろうと長期のコミュニケーションを取ることは可能であること。
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	ロシア語文法、会話
授業内容	教師が送付してくるpdfの教材、オンライン図書館に登録して提示された教科書の主に2種で授業が進められた。授業自体はzoomが主だったが、教師によってはSkypeを用いたこともあった。☑ 文法や会話を中心に、問題演習や議論をした。成績評価は、普通の授業態度や筆記試験だけでなく、プレゼンテーションや動画作成など幅広い点で行われた。
授業の開講時間および現地時間との時差	16:00-19:10☑ 18:30-21:40のどちらか。(時差は6h)
外大の授業との両立について	基本留学先大学の授業がある日は外大の授業を入れない、もしくは午前中の授業とし、なるべく留学先の授業に集中できるようにした。課題は問題なくこなせたが、その分復習に充てる時間が取りきれず苦労した。
授業内容やプログラム全体に対する感想	授業としては特に大きな困難もなく、オンラインだからこそ情報の共有などもしやすかったの利点は確かに存在した。しかし、授業前後の雑談や留学生との仲を深める機会が薄く、やはりオンラインの限界を感じることも多かった。特に、オンライン留学では「現地でしたかったこと」のほとんどができず、悔しいと感じた。だが結果的には得られたものも多く、充実した留学であったと思う。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	雑談で紹介や比較をしたり、授業で議論したテーマを用いてのプレゼンテーションで日本の状況などを話したりすることもあったが、一番大きなものは、大学が留学生向けに開催した「自分の故郷」を紹介する動画のコンクールに参加したことである。元々は授業課題として作成したが、せっかくなので応募し、優秀賞をいただいた。
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)	8
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	現地留学に勝る留学はないが、オンラインだからこそその利点もある。どちらを選ぶかは自身の状況などによるが、よく考えて選んでほしい。

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度	
オンライン留学先国	ロシア	
オンライン留学先大学	サンクト・ペテルブルク国立大学	
プログラム開始日	2022年3月14日	
プログラム終了日	2022年6月6日	
今回の留学にかかった費用	無料	
留学の目的とその達成度合	帰国後も継続してロシア語を学習し、ロシア語の能力を向上させるためオンライン留学に参加した。リスニングや会話の能力は、受講前と比較して大幅に向上したと感じる。	
留学を通して得たもの（スキル、経験）	オンライン留学を通し、授業中に積極的に発言することや、質問をすることに対して抵抗がなくなった。オンライン授業という場でしか現地のロシア語に触れることができなかったため、積極的な参加を意識して授業を続けることが出来たと思う。	
留学先大学への支払い方法		0
履修した科目	Russian, practical class☒ Facultative. Russian Language for Intercultural Communication, supervised self-study☒ Russian, supervised self-study☒ Facultative. Russian Language for Academic Communication, practical class☒ Facultative. Russian Language for intercultural Communication, practical class	
授業内容	授業はマイクロソフトのTeamsを使って行われた。文法の授業では、オンライン上で配布された教科書に沿って進められ、教授に指名された生徒が練習問題に答えるといった形で行われた。生徒のレベルに合わせて授業が行われるため、全てロシア語で行われる授業に不安を感じる生徒でも参加しやすい雰囲気であったと思う。ほぼ毎週、ロシア語で簡単なプレゼンテーションを行う課題が出される授業もあり、授業前の準備は必須であった。	
授業の開講時間および現地時間との時差	15:00-18:10(時差6h)☒ 18:40-21:50(時差6h)	
外大の授業との両立について	外大の授業を受講していなかったが、数コマであったなら両立は可能であったと感じた。	
授業内容やプログラム全体に対する感想	元々現地においても、感染症対策のため全ての授業がオンラインで開講されていたため、授業内容に関してはあまり変化がなく、スムーズに受講することができた。全てロシア語で行われる授業であったため、初めて授業を受けた際は全て理解することが出来るか不安であったが、徐々に慣れることができた。全体的に全ての授業が質問のしやすい雰囲気であったため、すぐに質問をして疑問を解決することができる点が良かった。ただ、毎日2コマ連続で同じ授業が続くというプログラムであったため、少し疲れてしまうように感じた。	
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった	
交流活動の具体的内容	授業の中で、自国の文化を紹介するプレゼンテーション等を行う課題が数回出され、留学生同士がお互いの国についてロシア語で発表をする機会があった。日本の有名な観光地や、伝統工芸品についての紹介を行った。	
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)		7
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）		0
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了	
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。		0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど		0

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	ロシア
オンライン留学先大学	サンクト・ペテルブルク国立大学
プログラム開始日	2022年3月12日
プログラム終了日	2022年6月7日
今回の留学にかかった費用	オンライン留学自体は0円。別途、現地への派遣留学（1ヵ月半）では400,000円を費やした。
留学の目的とその達成度合	派遣留学そのものの目的は別途、現地留学体験報告書に記載した通り。帰国後もオンライン留学の受講継続を選択した目的は、語学習得を諦めることなく最後まで完遂し、ロシア語運用能力の向上に一定の成果を得ることが目的だった。結果的に、日本国内でもロシア語能力検定試験（ТРКИ）は挙行されなかったため、能力向上が達成できたかを数値的に検証することはできなかったが、渡航後のオンライン留学で得られた体験はかけがえのないものであったと考える。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	留学全体を通して得られた経験は別途、現地留学体験報告書に記載した通り。オンライン留学のみに関して言えば、種々の問題解決のための視野をより広げられたことは留学での成果のうちの一つであるように思う。現地留学以来、ロシア語の授業において、ロシア人講師や外国人留学生らと顔が見える形でコミュニケーションを継続する中で、ウクライナ情勢をはじめとするグローバルな課題に対して彼らの反応を観察したり、意見を交わしたりすることは、自己や日本人としての気質やアイデンティティを客観的に捉える重要な転機であった。環境問題や人口問題の危機的状況に直面する我々学生の世代にとって、同一世代内での主張のギャップを埋めることは問題解決のための前提条件であるように思われるが、同じ外国人留学生同士でも各国社会の状況の違いによって多少なりとも意見が食い違うことがあり、そうした過程で「自己にとっての便益」「日本人にとっての便益」「グローバルシティズン（地球市民）にとっての便益」を適時適宜区別して考えることの重要性を痛感した。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	Full-time Russian Language Courses
授業内容	別途、現地留学体験報告書に記載した通り。【各曜日別科目名】※3時間（1.5h×2コマ）/日。月曜：Facultative. Russian Language for Intercultural Communication practical class。長文読解中心。ロシア文化を主に扱う。プリント配布。火曜：上に同じ。水曜：Russian practical class。会話・ディベート中心。人口減少問題やジェンダーなど世界共通の課題を広く取り扱う。教科書（《Время Обсуждать.》）使用。木曜：Russian supervised self-study。文法・作文中心。一部ТРКИ形式のテキスト配布。金曜：Facultative. Russian Language for Academic Communication practical class。発表・作文中心。ロシア史を主に扱う。プリント配布。【備考・注意点】新型コロナウイルスの流行拡大及びウクライナ情勢の悪化によって授業はすべてオンライン開講となった。1クラス当たりの人数は当初10人ほどであったが、うち数人が受講を中止したため、最終的には4～5人程度に落ち着いた。ZOOMではなくMicrosoft Teamsを使用するので注意。渡航前の文法&口頭試験によって7クラスに振り分けられた。私は上から数えて3番目のクラスに参加したが、他のクラスメイトの出身は中国・韓国・ノルウェー・ドイツなど雑多。本人の希望と教員の意向が上手くマッチすれば、クラスの移動も可能。
授業の開講時間および現地時間との時差	※現地（サンクトペテルブルク国立大学）との時差はすべて6時間。月曜：18:40-21:50。火曜：17:00-20:10。水曜：15:00-18:10。木曜：15:00-18:10。金曜：15:00-18:10。
外大の授業との両立について	外大の授業は並行して7コマ履修した。オンライン留学と時間割が被ることを避けるため、すべて1,2限のオンライン授業を履修した。留学期間中の4～6月は両立自体は大変だったものの、実家で生活かつ、全授業オンラインであったため、苦痛を感じるほどではなかった。しかし、オンライン留学修了後、私自身が燃え尽き症候群となってしまう、外大の授業のレポート課題に全く手を付けられない状態にまでなってしまったため、両立はあまり推奨しない。
授業内容やプログラム全体に対する感想	最終的にロシア人講師や同じく留学に参加していた外国人留学生らとは一度も対面で会うことはなかったものの、現地およびオンライン留学中の半年間で築くことができた彼らとの関係性は非常に濃密な体験であったし、ロシア語でのコミュニケーション能力が成長していくのは日を追うごとに実感できた。総合的には、本留学を決断したこと以後悔はなく、得られた貴重な体験や成果の数々に満足できている。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	授業内でのプレゼン発表で日本の食文化や歴史上の人物について取り上げる機会がしばしばあった。
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	8
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	ロシア語でのコミュニケーションを躊躇わない精神さえあれば授業で困ることはありません。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	後輩の皆さんの（派遣・私費・オンラインいずれにせよ）留学が実り多きものとなるよう祈っております。

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	ロシア
オンライン留学先大学	サンクト・ペテルブルク国立大学
プログラム開始日	2022年3月18日
プログラム終了日	2022年6月30日
今回の留学にかかった費用	1500円
留学の目的とその達成度合	目的：語学能力の向上☑ 達成度合：若干程度
留学を通して得たもの（スキル、経験）	オンライン留学で得られるスキルや経験は、現地渡航で得られるそれと比べると極めて少ない。予習・復習を適切に行えば授業内で扱われた文法・文化の知識は定着する。
留学先大学への支払い方法	クレジットカード払い
履修した科目	Russian Language for Intercultural Communication ☑ Russian Language for Academic Communication
授業内容	使用ツール：Microsoft Teams ☑ 主に動詞の活用と文法、文章読解、プレゼンテーション、ロシア文化の紹介等
授業の開講時間および現地時間との時差	15:00~21:50の間で日によって変動(時差6h)
外大の授業との両立について	外大の授業は同時期に履修していない。
授業内容やプログラム全体に対する感想	参加人数が比較的少ないこと以外は日本で受けるネイティブの授業とさほど変わらない。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)	6
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	-

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2022年度
オンライン留学先国	ロシア
オンライン留学先大学	サンクト・ペテルブルク国立大学
プログラム開始日	2022年9月1日
プログラム終了日	2023年6月30日
今回の留学にかかった費用	0円
留学の目的とその達成度合	<p>目的 言語力の向上、ロシア文化の理解☑</p> <p>☑</p> <p>達成度合い 現地へ渡航できなかったことが唯一残念だが、授業の質はとても高く、言語力は向上した。現地に行かずに日本で生活している分、自由な時間が生まれその時間をロシア語で文学を読むなど活用した。ロシア文化も直接ではないが、多く知ることができたと思う。</p>
留学を通して得たもの（スキル、経験）	<p>周りの環境を理由にせず、自ら積極的に活動することができるようになったと感じる。基本的に授業は午後7時以降でそれ以外の時間は宿題をする以外は暇だったので、その時間をどのように活用すれば、現地留学と近いレベルまでいいものを得られるか方法を自ら試行錯誤した。一人の時間が多くすこし寂しいこともあるが、周りの環境に頼らず、自律して物事を進められるようになった。☑</p> <p>ロシア語で文学作品が読めるようになった。</p>
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	<p>ロシア語文法の授業（週2コマ）☑</p> <p>ロシア語会話の授業（週2コマ）☑</p> <p>ロシア語アカデミック・ライティングの授業（週2コマ）☑</p> <p>ロシア文化の授業（週4コマ）</p>
授業内容	<p>・ロシア語文法☑</p> <p>学生の関心・レベルに合わせて取り扱う文法のテーマを決める。☑</p> <p>・ロシア語会話の授業☑</p> <p>関心のあるテーマを選択し、そのテーマについてプレゼンをする。その後全員で話し合う。☑</p> <p>・ロシア語アカデミック・ライティング☑</p> <p>教科書に沿って、学術的な文章の書き方を学ぶ。（難易度高め）☑</p> <p>・ロシア文化の授業☑</p> <p>秋学期は教科書に沿って、ロシア文化を学ぶ（文学、音楽、建築、宗教など）とともに、そのジャンルに関連した自国の文化をプレゼンで紹介する。☑</p> <p>春学期はロシアの短編小説を授業で読んで、そこからテーマを決めて議論する</p>
授業の開講時間および現地時間との時差	<p>月曜日から金曜日の平日のみ授業 ☑</p> <p>19:30 - 22:30 or 19:30 - 24:00 (時差6h)</p>
外大の授業との両立について	<p>外大の授業を3-4コマ、留学先大学の授業を10コマ履修。☑</p> <p>外大の授業はオンライン授業でそこまで大変なものではなかった。留学先大学の授業はプレゼンの準備や予習などやることは多かった。</p>
授業内容やプログラム全体に対する感想	<p>今年度の派遣先大学の留学生数が少ないせいか、オンラインの授業のせい4人-6人の小人数制の授業だった。そのため発言する機会や、プレゼンを発表する機会が多くとてもよかった。授業内容は配属されるグループのレベルや先生によって異なる。グループは学期の初めにテストと軽い話し合いのようなものによって決められ、学期中は同じグループのメンバーと学ぶ。春学期に行ったロシア文学の授業が自分的にはとても気に入った。ロシア語会話とロシア文化の授業は基本的には学生の意向に沿って授業が構成される、つまり自由なので初回の授業の際に、なにがやりたいか意見するといふと思う。</p>
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	-
プログラムに対する満足度（10段階：低1～高10）	9
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	授業やプログラムにはとても満足している。特に言語面においてはとても成長したと感じている。だが、できることなら現地へ行ったほうがいい。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	オンライン留学のメリットは費用と時間がからないことです。お金や時間があまりない方には特にお勧めです。自分のグループには働きながら、授業に参加している方もいらっしゃいました。自分の工夫次第でいい経験にもなると思います。当面の間、ロシアへ留学することは叶いそうにないでしょうから、ぜひ試してみたいかがでしょうか。